

## 事業ポートフォリオの基本的な考え方

当社グループでは、持続的な発展のために ROIC に目標値を設定し、資本コストを意識した経営に取り組んでおります。取り組みにあたっては、各事業セグメントについて分類を行い、各事業の課題等を踏まえた対策を検討しております。当該検討を踏まえ、事業ポートフォリオの見直しを進めてまいります。また、今後も既存事業における商品発掘に通じるシナジー効果の高い新規事業を主に進める傍ら、成長性が高く安定的な収益を継続的に計上するための分野も視野に入れた M&A 戦略を積極的に検討して参ります。

### ①理美容事業

理美容事業に関しては、商品の多様化や製品ライフサイクルも短くなっている中、2022 年 3 月期の上半期において韓国から輸入したコスメ商材が堅調だったことから、商品選定の重要性、マーケティングの必要性を再認識しております。今後も積極的に新規商品開拓及びマーケティング戦略、取引先の開拓を行って参ります。また当社が保有する従来の販路である B to B のプロ向け市場だけでなく、B to C 市場に向けて、まずは韓国を中心とする海外商品の取扱拡大による事業収益の拡大を図って参ります。

### ②コンサルティング事業

コンサルティング事業に関しましては、費用対効果が良く、収益性は良い状態で推移しております。昨今の変化の激しい状況において、当社はコンサルティングの専門性をより高め、顧客満足度を上げることで今後も本件事業を継続して参ります。

### ③通信販売事業

通信販売事業におきましては、当社の主力媒体であるテレビにおいて顧客層の高齢化及び若年層のテレビ離れが進んでいる中、今後はテレビとインターネット等の他媒体との連動や顧客層に合致したインターネット媒体の活用も検討してまいります。また、当社の強みである番組制作、収録による商品紹介についても制作スタッフの技術力を高め、商品イメージを膨らませ、購買へとつながる素材作りに適した新規商材の開拓を推進し、より安定した収益を計上できるよう経営を進めて参ります。

